

【事業名】地下水冷熱を活用した電気・熱出力可変型CGSによるエネルギーの面的利用とBCP対策強化事業

(1) 事業概要

主な事業者	三井住友ファイナンス&リース株式会社 株式会社西日本キャンパック 東邦ガスエンジニアリング株式会社
事業地	岐阜市鶴田町三丁目7番地の5
施設名称	株式会社西日本キャンパック
面的エリア面積	400m ²
主な再生可能エネルギー	地下水冷熱、コージェネ廃熱(蒸気)
面的利用先	複数の生産棟
主な導入設備	ガスタービンコージェネ 2.0MW×1台
事業期間 (稼働予定)	2016年10月～2018年2月 (2018年2月稼働予定)
省エネ効果見込	省エネ量：1,132kL/年、省エネ率：11.2%

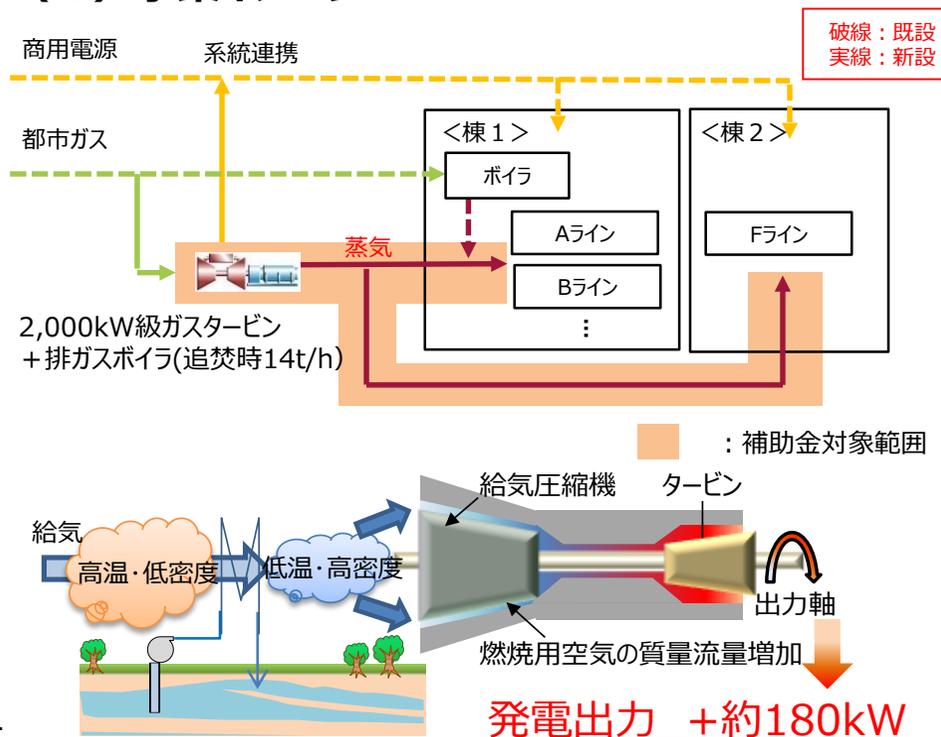
(2) 事業の特徴

- 岐阜県の豊かな地下水に着目し、地下水冷熱を活用した夏季の発電出力可変型CGSを導入、複数棟の生産工程に対してエネルギー利用を面的に再構築する事業。
- 熱供給量の出力範囲を拡大した新型追焚付排ガスボイラを導入、従来タイプより最大出力を約40%向上、高効率な追焚付排ガスボイラを有効活用した省エネ事業。
- 季節間及び長期的な生産変動にも最適稼働計画・運用を実現するため、出力可変型CGS及びEMSを組み合わせた新たなモデル事業の構築を目指す。

(3) 導入効果

- 省CO₂量(省CO₂率)：1,541t/年 (8.0%)

(4) 事業イメージ



(5) 面的利用概要

